



一月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園

ト

部

た

み

一月の主材

○四方拜

○年賀

○一月の町

(門松、初荷、まんごら、獅子舞、猿まはし等)

○一月としての行事

(七草粥、内松、鏡開き、消防出初式、大相撲)

○お正月の遊び

(新年會、かるた會、すご六、追羽子、こままはし、凧揚げ、お手玉、其他)

○一月の草花

(福壽草、梅、水仙、寒ぼたん、寒菊、南天、ちもと、やぶこうじ等)

○雪遊び

(雪だるま、雪うさぎ、雪つゆ)

○一月の誕生會

曜 週	幼一組 一月の生活	第 一	第 二	第 三
1	1	<p>始業式 教生紹介式（於小學校） 幼稚園教生紹介 お話 唱歌 遊戯、ピアノラの曲をきく</p>	<p>各自の休中のお話 （面白かつたこと） スゴ六、トランプ、カル タ、ハネツキ、凧あげ、 お汁粉、お雑煮、カキモ チ 新年會の仕度 繪、本よみ、紙切、折紙） 等雪合戦を見る 雪つり、雪うさぎ、雪だるま 作り、火にあたりつゝ雪の 問答</p>	<p>自由遊び 羽根つき、雪遊び、影繪 お正月遊びの話 火にあたりつゝ観察、 問答 唱歌、ジャンケンポン第一 遊戯、其他練習 お仕度ごっこ、お迎へごつ こ（組結び、ポタンカケ、靴 はき、帽子マント）</p>
2	2	<p>自由遊び（文字、數觀念調 査）日曜に遊んだ話、繪 折紙等 談話（窓ばり子笛） 話の内容の觀念畫（自由） （本校附屬校庭） 散歩 寒菊池、氷、枯草、霜、つら ち、南天、葉ぼたん 運動（走りごっこ、山登り、リ ンレー） （唱歌ジャンケンポン練習）</p>	<p>自由遊び（同上調査） （焚火、芋焼き、芋ふかし） （この間のまゝごと） 丙組合併會食 （あと始末） 右の事により繪、觀察等行 はる 唱歌ジャンケンポン第二段 遊戯ジャンケンポン其他</p>	<p>自由遊び（同上調査） 散歩（傳通院、銀杏寺境内） 自由書手技に發表 談話（紙風せん） 唱歌遊戯（ジャンケンポン 其他）</p>
3	3	<p>自由遊び 繪、手工、談話（日曜の發表） 誕生會の仕度 裝飾、おくりもの作り お話あそび練習 唱歌遊び練習 唱歌、夕暮のうた（第一段） 自由遊び （午前の續きをして遊ぶ）</p>	<p>自由遊び 誕生會の仕度 前日に同じ 御案内のポスター作り おくり物ののし作り （一齊に） 唱歌、夕暮のうた（第二段） 遊戯、唱歌（既習練習）</p>	<p>自由あそび（前日におなじ） 本讀み おくり物作り、御手紙（繪ハ ガキ）作り 談話（水仙になつた少女） 著音器（食事中よりつく） 明日のフログラム作りの相 談 唱歌。遊戯お話あそびの練 習 唱歌遊戯（夕暮のうた新授）</p>
4	4	<p>小學校入學調査のため休み</p>	<p>お休の日の話 繪、談話に發表 花壇の世話、砂場の掃 除、小鳥の世話等手わ けてするうちに觀察 自由遊び 遊戯唱歌練習（夕暮のうた 其他）</p>	<p>自由あそび 一月分身體検査 散歩（本校の庭――江戸川 べり――牛天神） 手技談話に發表 唱歌練習</p>

第	四 第	五 第	六 第
1	<p>新年の集り會(一年と合同) お鏡開き會 おもち焼き、お汁粉作り 開會 お話 唱歌 遊戯 お話あそび 樂隊 會食 かるた會、其他双六、羽根等</p>	<p>散步(本校校庭、寄宿舎庭、公設市場等) 冬枯の植物、霜つらら、氷柱、氷、太陽、影、雲、(色、形、方向等) 観 空の色、飼育鳥類、市場の八百や、魚や、炭や、大馬、其他 テニス、ジャンプ、砲丸投げ、雑刀、體操等 自由畫(觀察事項の發表)市場の八百や、炭や魚ごっこ仕度</p>	<p>自由遊び 賣買遊びの仕度つづき つづいて賣買遊び 唱歌ジャンケンポン第一 八段練習其他 遊戯練習</p>
2	<p>自由遊び (積木、色板ならべ、本よみ、折紙) 談話(熊太郎) 塗繪(右の話の内容の一場面)其他自由畫 遊戯、影ふみ、リレー、毬投げ、色カード、たつき鬼 本校門前通り往來觀察</p>	<p>本校門前通り觀察 (主として電車を中心として) 電車の問答等より繪に入る。次に切り抜き立てる。壁に臺紙をはりそれに電車(電車道の合作)をならべてはらしむ。 唱歌電車其他ジャンケンボ 遊戯同上。</p>	<p>自由遊び 本校門前通り觀察 昨日に引續き電車道作りより家、犬、電柱。人。樹等を畫きて切り抜き、町の合作となる。 唱歌、夕暮のうた(第一段新設) 遊戯ジャンケン、其他の練習 遊戯同上。</p>
3	<p>自由遊び 一月生れ誕生會 母の會 遊戯練習會 自由遊び</p>	<p>自由遊び(同上、まんどこ) 談話(角力ごっこ) 繪(同上の話より繪に入る) 唱歌(夕暮のうたつづき新設) 遊戯(授) 其他練習、運動、綱引、リレーボール 遊戯</p>	<p>自由遊び 一二組男子を中心として角力ごっこ(女子見物) 散步(寄宿舎の庭) (採葉の落葉にて細工、繪)其他 唱歌、遊戯、練習</p>
4			

1. ヒ ト リ フ タ リ 三 人 四 人 五 ニ ッ 六 人 七 人 八 人
 2. 十 ニ ッ 九 ニ ッ 八 人 七 人 六 人 五 人 四 人 三 人

ル ス ニ ッ 十 ヒ 人 ト リ 兵 隊 サ ン ガ カ ス モ ス サ ミ 女 エ ヘ ッ ク タ

色カード遊び

玩具祭り等の遊びに引續いて他の遊びをと考へて居りました處へ、先頃文部省主催の兒童生活展覽會及び府主催の答禮人形送別會の御もとめに應じて發表致しました遊びに就て、其後かなり多くの幼稚園から御問合せが御座いましたから、此の紙面を拜借して御批正を仰ぐ材料といたします。

題目。(かぞへ遊び) 又は (兵隊とお花)

出所。(幼稚園の遊戯歌)の中から

歌詞。(一) ひとりふたり三人四人五人六人七人八人九

人十人兵隊さんが進みゆく。

(二) 十人九人八人七人六人五人四人三人ふたり

ひとり兵隊さんが皆歸つた。

(三) 一り二輪三輪四輪五輪六輪七輪八輪九輪

十輪お花が咲きました。

(四) 十りん九りん八輪七輪六輪五輪四輪三輪二

輪一輪お花が皆つぼんだ。

是は幼稚園の遊戯歌の中に出てゐる兵隊さんの歌に加へて、私が女の子の爲め特に(三)(四)のお花の歌を作り、それに動作をつけたもので、十人以上

人数の多い時でも或は少い場合、どん場所でも自由に遊ぶ事が出来ず。單に一定の形をとつて遊戯室でするのみならず、室の中なり戸外なり椅子に坐して圓形或は其他の形をとつてゐる場合でも、色々方法に工夫を加へて遊ばせて居ります。遊び方。(一)列圓形。圓心を向く。)又は(十人一組宛横に一列に並ぶ。)

(一) ひとり 先頭の第一番目が一步前方に踏み出す。

ふたり三人。…順々に同様に歌に合せて一步前進。十人迄同様。

兵隊さんが進み行く。…全體先頭の方を向き行進。

歌が終ると又全體圓心に向ふ。

(二) 十人…十番目は一步後へ舊位置へ戻る。

九人八人七人…順次に同様に一步後へさがる。

兵隊さんが皆かへつた。…全體初めと反對の方向へ行進舊に歸る。

(圓の廣さ即ち人数に依り出方を種々かへる事。又一列の時は(一)と(二)の歌の間に二拍子の曲を入れてスキップで圓形に一周せしめて舊位置に戻つてから次の動作に入る事種々工夫出来ず。

(三) 一輪二輪…花も同様で一輪宛前へ出る時左右から圓く手を上にひろげて花の開く形をする。或は全體しやがんでゐて一輪宛立ち乍ら手を上に開いてもよろし。

お花が咲きました。…一同歌ひつゝ八呼間拍足、足踏。

(四) 十輪…十番目は左右から手をひろしつゝ舊位置へ一步戻る。或は手をひろしつゝしやが

じてよろし。

お花が皆蕾んだ。：：圓形の時は手を拍ちつ
つ又は全體手をつないで圓心に向つて前進。
横一列の時は、靜かにねむるかたちをする。

此の遊びをして居りますうちに、子供はだん
だん持つ物を要求して參り、砂場で使つてゐた砂
ごてを逆にして右の肩に鐵砲の形に持ちました。
暫くしてから畫用紙で帽子作りが初まりました。

大きい組の子は、どうやら學帽に模して型をかき色
を塗り、缺を入れ、あやしげな手つきで周圍と天井
とを長い白糸を通した針で一心に縫ひつけます。

糸が抜けると、女の子が口をとがらせて針の穴に
糸を通してやつてゐます。こんな處をみますと何
ともいはれない愛らしさにほゑまれます。

小さい組の子には畫用紙に型の線書を謄寫刷に
したものをあてがひます。女の子は五色紙（美し
いちり紙）を小さい四角に切つた花びらの角を丸

めて集めては花の冠を作ります。冠が出来上る迄
の熱心さには感服します。出来上つた冠をかむつ
て廊下といはず、庭といはず踊りまはり、しまひ
にははしやぎ廻ります。自分の力で美しい冠を作
りあげた愉快を押し切れない幼児と共鳴して私も
一緒につかれるまで踊りました。

なほ此の歌は一から十迄の順計及び逆計を自然
のうちに知らせて居ります。子供の喜ぶのは歌ひ
つゝ自分の順番をまち、自分の番の來た時、すは
こ、そと動きたい心持を充分に満足させる事の出來
る處にあると存じます。そして數生活に目醒め初
めた幼児に、或は數の環境を作り出すためにも趣
ある材料と存じます。但し是によつて一から十迄
の順計逆計を教へ込まうとして、歌の氣分を無視
して強いて計算に入つたりするのは、私は大嫌ひ
でございます。といつて幼児の數生活指導につい
ては充分考慮と計畫をもつて扱ふ事は決して忘れ

てならない事と存じます。例へば一人二人三人、或は一輪二輪三輪等といふのは、序数即ち順序数としての數稱であつて、

こゝていふ三人なり五人は第三人目又は第五人目であるが、基數としての三人、又は五人ではな
いといふ様な事を何も考へないで、幼兒の芽ばえ
てゆく數に對する興味にこんがらがりがや誤をもた
せる様な事のなきやう注意すべきで御座います。
幼兒の數生活遊びについていづれ又記させていた
だきます。

桃太郎のお話遊びに就て

赤坊が片言をいひ初める頃から、生れるとすぐ
から聞く話は第一に桃太郎のお話で御座います。
入園早々第一にきくお話も桃太郎です。此の御話
を繰りかへしくして行く間に、だん／＼の中に
出る問答は幼兒と保母、幼兒相互といふ様に進み、
漸次に起して來てお話遊びに導くのが、幼稚園で

あると存じます。幼兒に對話させて見せようとな
か、何々會に出すのだからといふのではない事は、
解り切つた事で御座います。桃太郎についての對
話は多くの著作がありますが、あの桃太郎のお話
遊びは五年程前に長尾豊氏から御教示にあづかつ
たもので、材料といひ程度といひ、場面のとり方
といひ、實に申分のないもので、どんなに幼兒を
幸福にするものであるか知れません。幸ひに最近
同氏の「低學年教材のやさしいお話と遊戯の取扱
ひ」といふ書物及び其他を發行せられ、桃太郎の
お話遊びは、其の第一編に載つて居ります。幼兒
の教育十一月號の後の扉に廣告の出たのを見て、
幼稚園教育のためにも眞實に嬉しい事と存じまし
た。

私は實際取扱上、犬猿雉子等をなるべく人數多
くし、桃太郎さんにあつてお團子をいたゞいた度
に一回づゝ「桃太郎さんの御供には」(幼稚園唱歌)

の齊唱をしてまはる事といたしました。勿論一組なり全體の何れの幼児も、何の役でも交る／＼して遊ぶといふのが又眞當の遊び方であると信じます。

桃太郎初め家來達の冠、反び團子、袋等凡て幼児各自の手披によつて出来る處にも面白味と價値があります。其他お話あそびの教育的價値は私などが申す迄もなく、幼児自身はすてにして居りますが、すぐれたよい材料を精選して幼児に與へて見て、つく／＼味ひ知る事が出来ると思ふので御座います。(二一一—二一二)

◎唱歌遊戯

本書は女流體育家高橋キャウ子さんの著。赤表紙に男女六人の幼児が歡喜に満ち／＼して遊戯せる模様を表出してゐるところが面白い。曲譜をあげて振をつけ、いろ／＼の注意までつけて、十一種の幼児に好適な唱歌遊戯を説明してある。それに岡本歸一氏が特に唱歌遊戯にふさはしい、大人も子供も大變よろこぶ繪、鮮麗な色版を八葉も加へられたことは一段とこの書の價値を宣揚してゐる。見るにも奏するにも遊戯するにもこの上なき良書。この書を手に入れば自ら手の舞足の踏む所を知らぬ状態に置く、單に幼児のみならず保母も母親も。

(定價金貳圓八拾錢 東京、右文館發行)